

企画調整委員会の 活動について

社会医学系専門医協会
企画調整委員会
小橋 元

2025年3月



1

今日のお話

- 企画調整委員会の主な活動内容
- 企画調整委員会からのお願い



2

企画調整委員会の主な活動内容

- 専門医協会の年間企画の調整
- 専門医・指導医・専攻医師向け広報活動
- 社会医学系専門医の社会認知・専門医を増やすための活動（厚生労働省科学研究等）
- その他の活動



3

企画調整委員会 年に原則4回開催(web)

主な議事内容

- 各事業計画についての進捗報告
 - I. 専門医・指導医認定委員会・更新受付状況
 - II. 研修プログラム認定委員会
 - III. 専門医試験分科会
- 厚生労働省科学研究費・健康安全・危機管理対策総合研究事業概要の進捗報告
- 広報・幹事からの報告
- その他



4

**専門医協会の年間企画の調整
⇒内容確認⇒理事会での事業報告**

[illegible]

広報活動(1) ニュースレター・メルマガの発行

ニュースレター
春（4月）、夏（7月）、秋（10月）、
冬（1月）の年4回発行
内容：

- ・新着情報
- ・学会開催情報・報告
- ・事務局からのお知らせ
(専門医認定試験・
更新手続きを含む)等

メールマガジン
ほぼ月1回のペースで情報発信
(ニュースレターとほぼ同様の内容・即時性を求める)



広報活動(2)

ホームページの構築(含 継続的改修)



7

一般社団法人 社会医学系専門医協会 (Japan Board of Public Health and Social Medicine)

・設立

平成28年12月5日

社員

構成学会（8学会）

- ① 日本衛生学会
- ① 日本産業衛生学会
- ① 日本公衆衛生学会
- ① 日本医療・病院管理学会
- ① 日本医療情報学会
- ① 日本疫学会
- ① 日本災害医学会
- ① 日本職業・災害医学会

構成団体（6団体）

- ① 全国衛生部長会
- ① 全国保健所長会
- ① 地方衛生研究所全国協議会
- ① 全国衛生学公衆衛生学教育協議会
- ① 日本医師会
- ① 日本医学士連合

友好社員

- ① 日本医学教育学会
- ① 日本国際看護学会
- ① 日本法医学会

8

社会医学系専門医の使命と制度の理念

社会医学系専門医の使命

本専門医は、医師としての使命感、倫理性、人権尊重の意識、公共への責任感を持ち、医学を基盤として保健・医療・福祉サービス、環境リスク管理および社会システムに関する広範囲の専門的知識・技術・能力を駆使し、人々の命と健康を守ることを使命とする。

社会医学系専門医制度の理念

本専門医制度は、個人へのアプローチにとどまらず、多様な集団、環境、社会システムにアプローチし、人々の健康の保持・増進、傷病の予防、リスク管理や社会制度運用に関してリーダーシップを発揮することにより社会に貢献する専門医を養成する。もって、多世代・生涯にわたる健康面での安全、安心の確保と向上に寄与する。



9

人材像・活躍する領域

社会医学領域の専門医（「社会医学系専門医」）が基礎的能力の上にさらに領域固有の専門性^{*}を発揮して活躍する領域は以下の如くである。

^{*}社会医学領域は広く、上記の基礎的能力の上に領域毎の専門性は、即ち、各サブスペシャリティが構築されている。

- 地域や国の保健・医療・福祉・環境行政に携わる人材
- 環境衛生、衛生研究所・環境研究所等の研究に携わる人材
- 感染症対策等に携わる人材
- 産業衛生など職場集団の健康維持・増進を担う人材、産業医
- 大学等で研究・教育を担い、地域や国の保健・医療・福祉・環境保全の活動、制度やシステムに携わる人材
- 国際保健（コミュニティヘルス、国のシステム）に携わる人材（国際機関、NGO、コンサルタントなど）
- 保健・医療・福祉などの組織管理、質・安全の管理、情報管理を担う人材、それらの評価・向上を担う人材、それらに関わる政策づくりに携わる人材
- 保健・医療・福祉・環境分野における関連研究開発（臨床研究含む）と開発物の社会実装、およびその過程の制度的側面・倫理的側面の評価・支援・指導に携わる人材
- 医療・健康の関連産業・企業等に関わる人材など



10

Q&Aのページ 会員マイページ

Q & A

社会医学系専門医・指導医の更新メールについて

1. 社会医学系専門医について

(1) 専門医制度について

Q1-1 新しい社会医学系専門医制度とはどのようなものですか。

Q1-2 日本専門医機構とはどのような関係ですか。

(2) 専門医の更新や認定について

Q2-1 社会医学系専門医とは何ですか。

Q2-2 なぜ社会医学系の分野は専門医が必要なのですか。

Q2-3 なぜ「社会医学系専門医」という名称なのですか。

Q2-4 なぜ「公衆衛生専門医」という名前ではないのですか。

Q2-5 なぜ社会医学系専門医は内科や総合診療科のサブスペシャリティですか。

(3) 専門医の資格について

Q3-1 社会医学系専門医はどのような医師を対象にした資格ですか。

Q3-2 社会医学系専門医の資格を取得するとどんなメリット/デメリットがありますか。

Q3-3 社会医学系専門医の資格は取得可能な医師はどのような医師になりますか。

Q3-4 社会医学系専門医の資格取得にはどのような条件が必要ですか。

Q3-5 社会医学系専門医の研修終了後の研修は、どのような研修ですか。

Q3-6 社会医学系専門医の研修には、費用がかかりますか。

①会員マイページについて

会員マイページログインはこちらから

会員マイページでは、会員番号とパスワードを使ってログインすることにより、所属機関・住所等、ご自身の登録情報も閲覧・修正が可能です。

会員番号は、本会報の私込用紙や会報の封筒に記載されている「[775-NUM-NUM]」という形式の数字です。会報正会員とは異なるものです。認定番号を利用して本マイページへログインはできません。

ログインシンドロームでは、ユーザーとしてハイフンを除いた10桁の数字を入力して下さい。

例えば、会員番号が「[775-123-4567]」の場合は、「[7751234567]」がログイン時の会員番号となります。

会員番号が不明な場合は、学会事務局 (member@jpsm.jp) までお問い合わせ下さい。

パスワードをお忘れの方は、ログイン画面に表示される「パスワードがわからない方はこの下の「パスワード問い合わせ」をクリックしてください。」より、再発行をお願いいたします。

上記でも解決しない場合には、「生年月日の登録がない」または「登録メールアドレスが現在のもものと異なる」可能性があるためです。以下の情報をお送り、学会事務局にメールでご連絡ください。

メール受領後の営業日を目安にメールアドレスの登録もいたしますので、改めてパスワード問い合わせをご利用ください。

氏名：社会医学系専門医協会 / 登録情報変更依頼 (会員ページログインのための)

氏名

認定年月日 (XXXX/●●/△△)

②住所変更を希望するメールアドレス

③会員番号 (不明な場合は省略)

E-mail・Faxでの登録情報変更

E-mail・Faxでも登録情報をご変更いただくことが可能です。

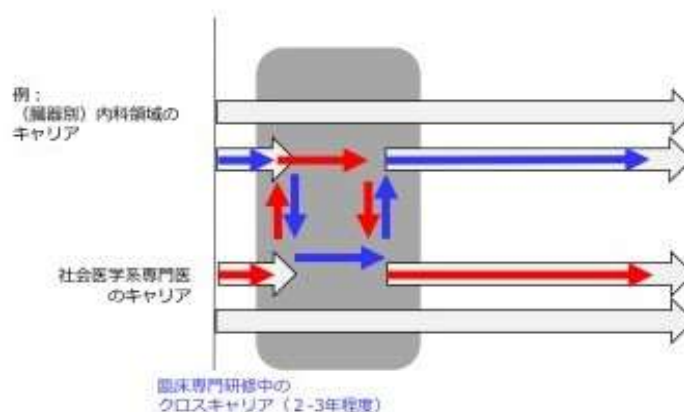
氏名を「社会医学系専門医協会 / 住所変更依頼」として、本文に最新の情報 (必ずE-mailを添えて下さい) をご記入いただき、学会事務局までお送り下さい。

※お問い合わせ先

13

厚生労働省科学研究(2023年まで)

クロスキャリアの提案



14

ウェブコンテンツ

インタビュー記事



	氏名	取材時肩書
1	宇田 英典先生	社会医学系専門医協会理事長／地域医療振興協会執
2	亀田 義人先生	千葉大学医学部附属病院病院長企画室特任講師
3	高橋 千香先生	東京都大田区保健所感染症対策課長
4	西浦 博先生	京都大学大学院医学研究科教授
5	野田 博之先生	内閣府新型インフルエンザ等対策室
6	玉腰 暁子先生	北海道大学大学院医学研究院・ 医学院社会医学分野公衆衛生学教室教授
7	杉山 雄大先生	国立国際医療研究センター研究所臨床情報センター医療政策研究室 室長／筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野准教授
8	加藤 杏奈先生	花王（株）全社産業医
9	近藤 祐史先生	厚生労働省健康局健康増進地域保健室 地域健康危機管理対策専門官
10	西 晃弘先生	Department of Epidemiology, UCLA Fielding School of Public Health
11	山本 尚子先生	WHO 事務部長補
12	平木 秀輔先生	北野病院 医療情報部長
13	高橋 礼子先生	愛知医科大学 災害医療研究センター講師
14	橋爪 真弘先生	東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻国際保健政策学教授
15	磯 博康先生	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター長



15

コンテンツ活用した体験から：

医学部学生への展示



2023年度
日本医学会総会（東京）での展示
2023年4月22日～23日

このときに各領域を紹介するスライドを作成して頂きました。
このスライドは、様々な場で活用可能であると考えられます。



16

他学会との合同シンポジウム

- 第53回日本医学教育学会大会（2021年7月）
日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム
「社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育」
- 第119回日本内科学会総会・講演会（2022年4月）
日本内科学会総会・講演会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム「臨床医学と社会医学の未来」
- 第54回日本医学教育学会大会（2022年8月）
日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム
「これからの医学教育研究について考える」
- 第56回日本医学教育学会大会（2024年8月）
日本医学教育学会×社会医学専門医協会合同企画「パネル
ディスカッション-医学教育学と社会医学の共通性-」
- ACP(米国内科学会日本支部)との中・長期的学術交流についても検討中



17

厚生労働省

医療従事者による2年に一度の届出 (三師届・業務従事者届)

(10) 従事する診療科名等 従事するすべての診療科名の番号を○で囲むこと。 また、3つ以上○で囲んだ者は右欄に主たる診療科名の番号を1つ記入すること。 臨床研修医の場合、「41 臨床研修医」のみを○で囲むこと。 該当する診療科名がない場合、最も近い診療科名の番号を○で囲むこと。				(11) 取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名、麻酔科の標榜資格、社会医学系専門医及び医師少数区域経歴認定医師 取得しているすべての資格名の番号を○で囲むこと。 ※01、18、19は日本専門医機構認定資格、02～17は、日本専門医機構又は学会認定資格、20～59は学会認定資格			
I				II			
01 内科				02 呼吸器内科			
04 消化器内科(胃腸内科)				05 腎臓内科			
07 糖尿病内科(代謝内科)				08 血液内科			
10 アレルギー科				11 リウマチ科			
13 小児科				14 精神科			
16 外科				17 呼吸器外科			
19 乳癌外科				20 気管食道外科			
22 泌尿器科				23 肛門外科			
25 整形外科				26 形成外科			
28 眼科				29 耳鼻いんこう科			
31 産婦人科				32 産科			
34 リハビリテーション科				35 放射線科			
37 病理診断科				38 臨床検査科			
40 集中治療科				41 臨床研修医			
43 その他()				42 全科			
V				主たる診療科名の番号(1つ)			
01 内科専門医				02 小児科専門医			
04 精神科専門医				05 外科専門医			
07 産婦人科専門医				08 眼科専門医			
10 泌尿器科専門医				11 精神科専門医			
13 麻酔科専門医				14 病理診断専門医			
16 形成外科専門医				17 リハビリテーション科専門医			
19 総合診療専門医				20 総合内科専門医			
22 消化器科専門医				23 呼吸器専門医			
25 泌尿器科専門医				24 腎臓専門医			
28 血液専門医				26 糖尿病専門医			
31 産婦人科専門医				27 消化器内視鏡専門医			
34 呼吸器外科専門医				30 アレルギー専門医			
37 気管食道科専門医				33 心臓内科専門医			
40 皮膚科専門医				35 心臓血管外科専門医			
43 老年病専門医				38 消化器外科専門医			
46 漢方専門医				41 細胞診専門医			
49 核医学専門医				44 消化器内視鏡専門医			
52 ベイシククリニック専門医				47 レーザー専門医			
55 がん薬物療法専門医				50 大腸肛門病専門医			
58 小児神経専門医				53 熱傷専門医			
60 麻酔科専門医				56 臨床試験(臨床研究)専門医			
				59 一般病院連携精神医学専門医			
				61 社会医学系専門医			
				62 医師少数区域経歴認定医師			



18

最後に ～ 皆様へのお願い

- ホームページ、ニュースレター、メールマガジンをぜひご活用ください
- 社会医学系専門医の社会認知・専門医を増やすための活動へのご理解とご協力をお願いいたします

